



Ferris University

2013 No.11

フェリス女学院大学同窓会会報



2012年秋竣工 山手8号館音楽学部新校舎

《聖句》

「心を尽くし、知恵を尽くし、力を尽くして神を愛し、また隣人を自分の
ように愛する」

マルコによる福音書 第12章33節

祈り

学院理事長 奥田 義孝



2011年11月に理事長をお引き受けし

てから一年半が経過しました。この一年半を通じて、改めて感じさせられたのは、学

院理事会は、在校生だけでなく、同窓生の

皆さまにも責任を負っているということでし

た。入学前の進学志望校は変えられます。

然し、卒業した学校、即ち母校は変えられません。卒業すれば、生ある限り、その学

校は母校です。若い日々を過した母校が、愛する心の故郷であり、誇りに思える学校

であり続けることは、一人一人の人生に少

なからず意味を持つと思うのです。所謂学

歴至上主義の時代は終わりましたが、それ

ぞれの人格的アイデンティティの原点と

しての母校の持つ意味は変わらないのみな

らず、むしろ大きくなっているのではない

でしょうか。

大学入学年齢である18歳人口の減少が遠か

からず始まります。私立大学の4割が既に定員割れと伝えられ、大学をめぐる経営環

The Serenity Prayer

God, give us grace to accept with serenity the things
that cannot be changed,courage to change the things
that should be changed, and the wisdom to distinguish
the one from the other.

(Reinhold Niebuhr)

心を静める祈り

神よ、どうかわたくしたちにお与えください——
変えることのできない事柄には

それを落ち着いて受け容れる恵みを

変えるべき事柄には それを変える勇気を
そうしてこの二つを見分ける英知を。

(本学文学部名誉教授 小塩トシ子先生訳)

境の厳しさが指摘されて久しくなります。学院は、理事会のもとに高等教育再編委員会を立ち上げ、これまで大学が策定してきた中長期的な将来構想『グランドデザイン』を、学院全体の総合的視点からプラッシュアップすることを決定しました。急速に変化する時代の流れの中で、変えてはならないものを守り、変えるべきものを変えることの大切さを思い、ラインホールド・ニー

バー(1892-1972)の「祈り」を、改めてともに心に覚えたいと願います。

同窓生の皆さまのご理解とご支援を切に
お願い致します。



フェリス女学院は二〇一〇年に創立二十五年を迎えます。創立二十五周年事業の一環として、校史の編纂に取り組むことになりました。

一五〇年史の編纂にあたって、鈴木美南子フェリス女学院大学名誉教授に編纂委員長ご就任をお願いすると同時に、建学の精神である「キリスト教の信仰に基づく女子教育」、そして「アメリカ改革派教会の支援」を、フェリス女学院の一五〇年の歴史全体を奏でる主旋律とすることについて相談させていただき、ご理解をいただくことができました。

以上のような旋律を奏でるフェリス女学院の一五〇年の執筆者として、小檜山ルイ東京女子大学教授、中島耕二明治学院大学客員教授、大西比呂志フェリス女学院大学教授、井上恵美子フェリス女学院大学教授、荒井真フエリス女学院大学教授、斎藤直フエリス女学院大学准教授、武尾一彦

フェリス女学院中高等学校教諭を、鈴木美南子先生からご推薦いただきました。

ところで、学校史だけでなく会社史につ

いても言えることですが、必要な歴史時期、必要な人物、あるいは必要なトピックスについての情報を入手するため、必要な箇所とその周辺の頁を紐解くという読み方が普通です。フェリス女学院の一五〇年史には、そのような用いられる工夫を施します。索引機能の充実です。百科事典のような用いられる方を可能とする程に索引機能を充実させ、フェリスの一五〇年史に「フェリス女学院百科事典」の機能を併せ持たせ

たいと念願しております。

一五〇年史は二分冊とし、上巻は創立時から敗戦まで、下巻は敗戦から二〇一〇年までを扱います。上巻の刊行は二〇一八年、下巻は二〇二〇年を予定します。

最後に、一五〇年史の編纂開始とともに、学院の資料室は、卒業生の皆さんの中あるいは大学時代の資料を求めていました。写真や印刷物、学校時代の思い出の品など、フェリスに関わる資料をお持ちでしたら、学院資料室にお声をかけていただければ幸いです。連絡先は以下の通りです。
045-662-4411, shiryo@ferris.ac.jp

一五〇年史の刊行に皆様のご理解とご支援をいただきたくお願い申し上げます。

フェリス女学院の一五〇年史編纂の開始にあたつて 学院長 大塩 武

学長挨拶



学長 秋岡 陽

同窓会のみなさまには、母校への変わらぬご支援・ご理解をいただき、ありがとうございます。心より感謝申し上げます。

さて、学長に着任してから一年余がたちました。この間、総会をはじめ、同窓会のさまざまな集まりに可能な限り出席させていただきました。そうした会で、いつも聖書が読まれ、賛美歌がうたわれ、そして祈りがささげられることに感銘をうけるとともに、「フェリスらしいな」と嬉しく思いました。

同じ学窓から卒立った卒業生が今までともに集まり、ともに聖書のみことばに耳を傾け、声を合わせて賛美し、ともに祈る。しかもそれが、ごく自然に会合のプログラムの一部に組み込まれていて、ごく自然に皆が心を開き、声を合わせることができるものならではの素晴らしい伝統です。

こうした伝統は、誰かが急に作ろうとし

て作れるものではありません。学院に連なつた大勢の方たちの祈り、そして何より学院を愛する気持ちの「リレー」によって築かれてきた伝統です。こうした「積み重ね」を大切にし、受け継いでいくことの大切さを思わずにはいられません。

同窓会のみなさまとお話をしていると、かつての思い出の名教師・恩師の思い出が語られる場面にしばしば遭遇します。そうしたお話をうかがうことも、楽しみのひとつでした。かつてフェリス女学院で教えられた先生がたの思い出話に、ときには爆笑、ときには深く感銘。卒業生のそうしたお話をうかがいながら、フェリスがいかにいい学校だったか再確認し、そして今も誇りの母校であることを強く感じました。

大学は二〇一五年に創立五〇周年を迎えます。一口に大学と言つても、かつての短期大学や、さらにさかのぼるなら専門学校時代の伝統も受け継いで現在の大学があるわけですから、それを考えると五〇年以上の長い伝統を現在の大学は受け継いでいます。この伝統をさらに五〇年先、一〇〇年先に良い形でリレーしていくなければならない。この節目の年を迎えるにあたり、同窓会のみなさまには、さらなるご助力をお願いすることもあるかと存じます。なにとぞ今後ともかわらぬご理解・ご支援のほど、心よりお願い申し上げます。

維持協力会のご案内

フェリス女学院の維持協力会は、学院の発展及び財政基盤の確立に寄与することを目的として、一九九五年に設立されました。

設立以来、同窓会、卒業生の皆様から多

大なるご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

二〇一二年度末までに四億九七〇〇万円の

ご寄付が維持協力会に寄せられ、そこから

二億五二〇〇万円が校舎の整備のために使わ

れました。大学関係としては、緑園キャンパ

ス図書館棟・体育館の建築のために使われ、最近では山手キャンパス八号館の耐震・改修工事のために使われています。

フェリス女学院の教育構想を掲げ、フェリ

ス女学院の存在意義を社会に示すために、現

在グランドデザインの策定を学院全体で進

めています。大学の将来計画もその中に含まれ、新校舎建築の可能性も想定した計画を

検討中です。グランドデザインの内容は、いずれ同窓生の皆様にも発表する予定ですが、大学のさらなる発展、教育・學習環境の整備・拡充を図るために、今後も維持協力会募金へのご支援、ご協力をどうぞよろしくお願ひいたします。

● 寄付の方法

原則として一口一万円としていますが、金額にかかわらずお受けいたします。専用の振込用紙で、最寄りの金融機関からご

送金ください。振込用紙は、ご請求いただければすぐにお送りいたします。継続的にご寄付くださる方には、銀行口座からの自動振替をご案内しておりますので、お問い合わせください。

● 会員登録

寄付金のご入金と同時に維持協力会へのご入会となります。

ご入会後、会員の皆様には、年に一回、個別の寄付金累計額を記載した「入金明細」を送付させていただきます。また、フェリス女学院維持協力会たより『緑の丘の上で』をお送りして、維持協力会の状況報告をいたします。

寄付金総額が二十五万円に達した方は、終身会員として登録いたします。終身会員の皆様には校歌CDを差し上げ、その後も引き続き年に二回、フェリス女学院広報『ALL FERRIS』を毎号お届けし、学院の近況をお伝えいたします。

維持協力会へのご寄付は、特定公益増進法人への寄付金として優遇措置が受けられます。確定申告のための必要書類は、学院からお送りいたします。

● 寄付金控除

フェリス女学院本部事務局 総務課
電話 ○四五・六六・一四五二一
E-mail hsounmu@ferris.ac.jp

Fグループ・りてら・りべるて合同総会

2013年6月8日・カイパー記念講堂にて



第十回合同総会は、青葉の美しい山手
カイパー記念講堂で開催されました。

初めて六月と致しましたが 幸いお天
気に恵まれ約二百名の出席を得まして盛
会となりました。

開会にあたり、同窓会を代表してりべ
るて金子会長より、りてら小澤会長、F
グループ熊本会長の紹介と、三同窓会の
活動に對して皆様方より寄せられたご理
解、ご協力への謝辞が述べられました。
また、十一月二三日（土）Fグループ主催
の研修会とフェリスホール募金コンサー
トを、りてら・りべるても協力して開催
するご案内と皆様へのご協力をお願ひし
ました。

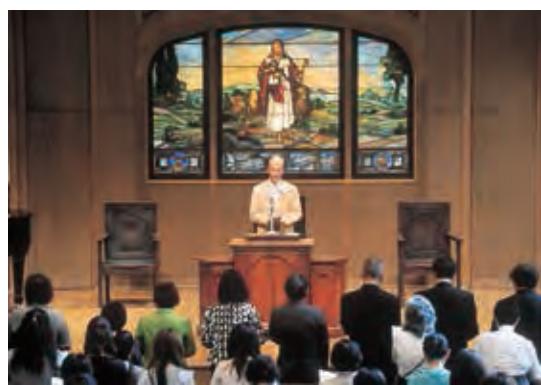
礼拝は、大学宗教主任廣石望先生、奏
楽は中川葉音さんにお願いしました。廣
石先生は、申命記第十二章二十九節、マ
ルコ福音書第十二章二八・三四節を朗読さ
れ『最も重要な掟』と題されてお詫されま
した。カイパー記念講堂の莊厳なパイプ
オルガンの響に包まれ、ここに参加できる
喜びを感じると共に、この場に集う事の
叶わなかつた同窓生の平安を祈りました。
ご来賓としてご臨席いただきました秋

岡陽学長より、同窓会活動への感謝のお
言葉と、音楽学部に昨秋新校舎がオープ
ンし、学ぶ環境が整い学生達が喜んで勉
強している等、大学の様子をお話されま
した。

次に、Fグループ会員の海野美栄さん
によるソプラノ独唱をバイオオルガンの
伴奏でお聞きしました。澄んだ美しいお
声がカイパー記念講堂に響き渡り、皆様
聴き入つていらつしゃいました。

懐かしい校歌を歌い、記念撮影をして
講堂を後にそれぞれの会場へ向かいまし
た。

来年は六月一四日（土）、山手で開催する
予定です。皆様お誘い合わせの上、ご出
席くださいますよう、お願いいたします。



Fグループ総会

6月8日、カイパー記念講堂で行われた合同総会では、幅広い卒業回の皆様とカイパー講堂全体に響き渡るオルガンの調べの中で共に礼拝を守り、卒業生の独唱があり、最後に全員で校歌を歌いました。

陽学長・立神糸子音楽学部長・宮本とも子先生、谷口昭弘先生、木村圭二先生をお迎えし、Fグループ総会を開催いたしました。

前期に引き続き選出された熊本美也子会長の挨拶に始まり、秋岡学長・立神音楽学部長より現在の大学の状況、これからの大手の行方についてお話をいただきました。宮本先生、谷口先生、木村先生からもフェリスを愛し伝統を大切にする心温まるお話を伺うことができました。

議事では12年度会計報告、会計監査報告、13年度予算案、12年度活動報告、13年度活動予定がそれぞれ承認されました。その後、新卒業生2名によるヴァイオリン、ピアノのフレッシュな演奏が披露されました。各支部の報告では、コンサートの開催、音楽ボランティアなど活発に活動されているお話を伺いました。

本年度もFグループコンサート、研修会などの、皆様の御参加を中心より待ち申し上げております。

(報告 亀山知子・35回)



(報告 亀山知子・35回)

りてら同窓生の集い

第24回 リベるて総会

一一一一年度 学位授与式

6月8日、12号館大会議室にて、りてら同窓生の集いが開催されました。

今年度は、GWを避け、6月第2週の開催となった合同総会ですが、梅雨の合間とは思えない天候に恵まれ、集いにも60名余りのご出席をいただきました。

今年度より、今春ご卒業の方に加え、卒業30周年の方を無料で招待と致しました。良いタイミングとご好評をいただきました。来年以降、30周年を迎える方には、楽しみにお待ちください。

また、6月の開催となつたためか、ご来賓も多数ご臨席くださり、集いでは、多くの先生方にお言葉をいただき、学部の様子や楽しいお話を伺うことができました。昼食休憩後、幹事会報告がなされ、学年幹事の活性化のお願いと、出席者数名にお話いただき、和やかな懇談会となり、大学の先生方、世代を越えた会員の皆様とりてらの絆を前向きに感じることができました。

来年度も、皆様是非お気軽にご参加ください。

(報告 増田紀子・83E)



(報告 増田紀子・83E)

6月8日(土)、カイパー記念講堂で行われた合同礼拝後、家政科記念館において、

友井ゆり子先生をはじめ、秋岡陽学長・荒井誠副学長・円谷幸輝大学事務部長ご臨席のもと、出席者・委任状合計1、七三一名の主席者を得て、りべるて総会が開催されました。

会長挨拶に続き議事に移り、2012年度活動報告、決算報告、会計監査報告、2013年度活動計画(案)予算(案)が審議・承認され、「りべるて奨学生」の目録が学長に贈呈されました。

秋岡学長から、奨学生に対するお礼のお言葉と日頃の活動に対する応援メッセージを頂きました。

荒井副学長は、家政科らしいりべるての活動をこれからも続けて下さいとお話をされました。

円谷事務部長は、経済的に困窮する学生が増えている現状でりべるてが奨学生を設立した事を本当に感謝して下さいました。

『み言葉と音楽』

音楽学部宮本とも子先生による
トピックするパイプオルガンの研修会とコンサート

11月23日(土・祝)フェリスホール
午後3時開演

会費 2000円

フェリスの原点である教会音楽をテーマに礼拝式の流れの中でのオルガンの色々な役割をご一緒に体験して戴ければ幸いです。

休憩の後は音楽学部の先生によるショパン、ミュージカルナンバーなどの楽しい募金コンサートです。収益はフェリスホールのために使わせていただきます。皆様のご参加をお待ちしております。

II 主催お問い合わせ

Fグループ 045-681-6740
協賛 りべるて・りてら・フェリス白菊会



同窓会では、今年、

● 文学部	302名
● 国際交流学部	227名
● 音楽学部	97名
国際交流研究科	1名
人文学科研究科	16名
音楽研究科	9名



Fグループだより

No.42
〒231-0862
横浜市中区山手町68
フェリス女学院大学
音楽学部同窓会
(Fグループ)

Fグループの皆様

Fグループ会長 熊本美也子(17回)



夏を迎える頃となりました。
夏を迎える頃となりました。

Fグループの皆様にはお健やかにお過ごしでいらっしゃいます。2010年4月に会長の役目をお預かりして3年、同窓生の皆様の暖かいご支援、励まし、そして新たにホームページ担当者を加えた事務局、役員一同の熱意ある働きのお陰を持ちまして任期を何とか勤めることができました。全て



山手8号館の一本桜

音楽学部 学部長 立神 粧子

山手8号館で迎えた初めての卒業式の日、校庭の古い桜の木が見事に咲きました。桜はなかなかの大木で、山

手の歴史と共にあるといふような風格を備えています。この一本桜は音楽学部のシンボルツリーとして大切に守ってまいりたいと存じます。

2014年度から音楽学部演奏学科は定員を30名に変更します。社会の動向とここ数年間の受験

の皆様に感謝申し上げます。

2013年4月より会長の任を再びお預かりいたしました。非力は元より承知しております

がフェリスの精神を守り、母校と卒業生をつなぐ役目に微力を尽くします。どうぞ変わらぬご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今春、Fグループは学部・大学院合わせて13名の新卒業生をお迎えし、会員総数は3900名を超みました。卒業生一人一人が「良い勉強をした」と満足していることが短大時代から今までの誇りです。これからも地域を越えて全国の支部と力を合わせて音楽学部を応援してまいりたいと考えております。本年11月23日(土)にはフェリスの音楽を発信するシンボル

の皆様に感謝申し上げます。

「フェリスホールのための募金コンサート」を併せて開催いたします。フェリス女学院中高・大学同窓会とフェリス音楽教室の協賛をいただき、音楽学部の先生方と支部の同窓生の演奏で構成されています。詳しくは同封のチラシをご覧下さい。

としてのフェリスホールに於いて「研修会」としてのフェリスホールのための募金コンサート」を併せて開催いたします。フェリス女学院中高・大学同窓会とフェリス音楽教室の協賛をいただき、音楽学部の先生方と支部の同窓生の演奏で構成されています。詳しくは同封のチラシをご覧下さい。

昨年に統一の募金コンサートで大変恐縮ですが、多くの同窓生の方々のお力添えをいただき、また大変嬉しく存じます。

最後になりましたが、Fグループ会長として長きにわたり母校と卒業生のために尽くされた大島君子先生(3回)が2月にご逝去されました。先生に心から感謝と哀悼の意を捧げます。

2012年度

音楽の贈り物

ジョイントコンサート
12年9月13日 フェリスホール



昨年9月13日(木)に行われましたFグループ6組の同窓生をお迎えいたしました。特に樂理学科を前身とした音楽芸術学科が音楽学部に創設されたから9年、この度、初めて音楽芸術学科の新卒生を皆様に紹介できましたことはとても嬉しかったです。音楽芸術学科の学生さんは大学に入つてから、本格的に歌やピアノを学ばれる方も多く伺っておりますが、ドイツオペラのワーンシャー原語にて演技付きで立派にお歌いになりました。

今回の出演者はお若い方が多かつたのですが、姉妹でのピアノデュオやピアノソロも大変聞き応えがあり、その美しい音楽に聴き惚れるほど本当に素晴らしい演奏でした。お客様が例年より少なかつたのがとても残念でした。ずっと勉強を続けていらっしゃる様々な年代の演奏者にとって、同窓生の皆様のエールは何よりの励みとなりました。今年は9月13日(金)18時30分開演(山手フエリスホール)です。懐かしい山手の丘で心温まる音楽をお聴きにいらっしゃいませんか?同窓生の皆様のご来場を心よりお待ち申し上げております。

また毎年出演者も募集致しております。アンサンブルでの出演も歓迎いたします。是非お問い合わせくださいませ。(担当 海野美栄・44回)

12年度出演者
芸61回) *平野亜衣(ヴァイオリン61回) *漆間有紀(ピアノ伴奏58回・院12回) *植松美帆(ピアノ独奏59回・院13回) *江草千枝(二台ピアノ院3回・江草里枝(二台ピアノ院6回) *柿本結衣(ピアノ56回・院10回) *小野直子(ピアノ伴奏56回)
*漆間有紀(ピアノ独奏58回・院12回)

◆ジョイント・コンサート出演者募集
毎年9月予定のジョイント・コンサートはFグループ会員、音楽学部関係者であれば出演可能。詳細は事務局までお問い合わせ下さい。
(書類選考あり)

研修会
12年10月27日 緑園チャペル



Fグループ2013年度コンサートのご案内 ジョイントコンサート

9月13日(金)18時30分開演
山手キャンパス・フェリスホール¥1,000

【出演】
音芸: 菅彩夏子(62回)
声楽: 大町加津子(54回)神戸裕衣(61回)
ピアノソロ: 西村泉(46回)
二台ピアノ: 原野秀子(54回)中川彩(61回)
ヴァイオリン: 伊藤彩花(56回)

ティータイムコンサート

10月18日(金)14時開演
山手キャンパス・フェリスホール¥1,000
(茶菓子付)

【演奏とお話】
ソプラノ: 岡田彩(53回・院7回)
リコーダー: 伊豫田祐子(37回)
オルガン: 林めぐみ(36回)

研修会とフェリスホールのための 募金コンサート

11月23日(土・祝)15時開演
山手キャンパス・フェリスホール¥2,000
(一口1,000円の募金も別途受付)

第1部 研修会「み言葉と音楽」
~バッハの時代に焦点を当てて~

【講師・演奏】宮本とも子

第2部 募金コンサート

【演奏】羽垣佳子(48回・中部支部)
フェリスヴォーカルアンサンブル九州
(九州・山口支部)
土屋広次郎・星野聰・立神粧子・堀由紀子

《お問い合わせ: お申し込み》
Fグループ事務局(木曜日10時~17時)
Tel & Fax: 045-681-6740

ティータイムコンサート 12年11月5日 山手6号館601教室

Fグループ会長選挙報告 熊本美也子さん(17回)が再選

13年3月7日(木)フェリス女学院大学山手6号館601教室にて開催されました学年幹事会に於きまして任期満了に伴う会長選挙を実施致しました。前会長の熊本美也子さんが推薦を受け、再選されました。

有効総数82票(出席37・委任45)
信任82票



以上の結果を持ちましてFグループの会則に従い125名の過半数票をもって、信任されました。熊本美也子さんが再選となり、引き続き会長として御活躍していただることになりました。幹事の皆様のご協力に感謝いたします。

2012年度会計収支報告

<収入の部>

項目	予算額	決算額
終身会費	4,000,000	4,460,000
研修会会費	100,000	128,000
ティータイム会費	30,000	47,000
ジョイント会費	130,000	178,000
宛名シール	15,000	24,680
雑収入	50,000	82,414
総会会費	0	29,000
クリスマスコンサート	0	38,000
小計	4,325,000	4,987,094
前年度繰越金	2,385,733	2,385,733
収入の部合計	6,710,733	7,372,827

<支出の部>

項目	予算額	決算額
(1)運営費	1,765,000	1,355,025
会議費	30,000	3,426
印刷費	60,000	54,819
通信費	150,000	134,332
人件費	600,000	613,180
交際費	80,000	74,110
事務費	50,000	8,948
備品費	100,000	0
出張費	60,000	15,540
交通費	450,000	400,020
学年幹事会費	70,000	50,650
特別委員会費	15,000	0
予備費	100,000	0
(2)活動費	3,650,000	2,813,837
総会関係費	600,000	542,946
研修会関係費	400,000	169,883
ティータイム関係費	130,000	109,093
会報関係費	650,000	535,404
ジョイント関係費	270,000	138,534
リサイタル関係費	150,000	56,000
支部関係費	600,000	600,640
慶弔関係費	650,000	606,022
チラシ・コマ・懸賞 予備費	100,000	55,315
事務局	100,000	0
(3)諸会費	370,000	370,000
連絡会維持費	70,000	70,000
維持協力会費	300,000	300,000
(4)積立金	750,000	750,000
名簿積立金	50,000	50,000
積立金	700,000	700,000
(5)予備費	175,733	0
支出合計	6,710,733	5,288,862
剩余金		2,083,965
支出の部合計	6,710,733	7,372,827

監査の結果、妥当かつ正確であることを確認しました。
2013年2月18日

Fグループ会計監査 大谷 國子
小西 和代

Fグループ会報編集
米田 悅子(35回)



慶弔 同窓生、先生の慶弔をご一報下さい。

住所・電話・姓の変更
旧姓・整理番号(宛名ラベル右上にある7桁の英数字)と一緒にお知らせ下さい。

電話・FAX(045)681-6740
Email: f-group@ferris.ac.jp

Fグループ事務局 木曜日10時～17時
山手6号館601教室の貸し出し、宛名ラベルの印刷、演奏会の後援を行っております。

詳しくは、事務局までお問い合わせ下さい。
ホームページにも掲載しております。

Fエリス女学院大学への募金箱のご報告
Fグループ催しの折、設置しております募金箱、その他より、大学生支援基金へ￥118,500を寄付いたしました。御協力ありがとうございました。
Fエリス女学院大学への募金箱のご報告
Fグループ催しの折、設置しております募金箱、その他より、大学生支援基金へ￥118,500を寄付いたしました。御協力ありがとうございました。

Fグループのホームページが、リニューアルされました。
フェイスブックも始めました。



<http://f-group-hp.org/>

from
once a student

「タイ、バンコックでの出会い」 繩田 宏子(19回)



卒業生だより

新役員紹介
士屋友紀さん(48回・院3回)
関東甲信越地区ブロック決勝大会
ファミリー部門優秀賞

おめでとうございます

土屋友紀さん(48回・院3回)

〔第27回全国童謡歌唱コンクール〕

関東甲信越地区ブロック決勝大会
ファミリー部門優秀賞

シヤワ本部の会員員です。1987年より3年に1回のコンクールを主催してきました。このコンクールよりタイから世界に羽ばたくビアニストが沢山生まれています。香港のショパン協会で毎年開かれるフェスティバルに於いて多くの一流的ピアニストに接し、彼らの自然体で暖かい人間性と音楽に対する謙虚で厳しい態度に心をうたれ、毎回沢山のエネルギーを頂いています。

今から40年以上前に、未知の国、タイ、バンコックへやってきました。
最初の出会いは1972年にタイのヤマハに入社したこと。ヤマハの独特的のシステムはフレーズの恩師、中田喜直先生の発案なのです。

キーボード、ハーモニー、ソルフェージュ、サンサンブル、即興演奏、作曲(自作自演)等、生徒と一緒に一生懸命勉強しました。
次の出会いはタイの皇族でもあるビヤバン先生。幼い頃よりヨーロッパで勉強され、クラウディオ・アラウ、ヨゼフ・ホフマンの弟子でした。7年前に先生が亡くなるまで、私のタイでの生活を全面的に応援して下さりまるで本当の親戚のような方でした。

更なる出会いはバンコックショパン協会(ワル

私はまだ未熟な65歳。でも、ここバンコックで音楽と共に歩み続けられている事への感謝と幸福を少しでもフェリスの同窓生の皆様と分かち合いたいと思い、筆をとりました。

1971年タイへ渡る。ソロリサイタルの他、ヴァイオリン、チェロ、声楽等と共演。ピアノデュオで香港やマレーシアなどでも演奏。バンコックショパン協会副会長、ビヤバン協会委員。サヤムペット9ミュージック(ノリエミュージックスクール)を経営し、後進の育成に努める。



常任会員	企画会員	書記会員	副会長	会長
会計担当	監査会員	会員	会員	会員
事務局	HP担当	会員	会員	会員
36回	36回	21回	51回	50回
43回	43回	26回	25回	26回
35回	35回	36回	35回	35回
35回	35回	36回	35回	31回
35回	35回	61回	42回	29回
35回	35回	42回	44回	17回

36回 43回 35回 31回 29回

リベラルの政治文化

会長 小澤 美智子(70J)



協力をいただきましてありがとうございました。

本年度は役員の任期満了に伴い改選の年となりました。会長をお引き受けいたしました。これから、あつという間の三年でした。至らぬ私は周りの皆さまに助けられ、チャレンジして参りました。やり残したことを行ふため、もう一期、会長を務めさせていただこうことにいたしました。

会員名簿の管理、母校と同窓生を結ぶ
架け橋となること、同窓生の親睦の場と
なること、会報の発行となります。

さらに学生との交流や支援などに力を
入れ、在学中から同窓会への理解を深
めていたく努力をしていきたいと考え
ております。

同窓会にてらの運営は、各学年の代表である学年幹事と役員で構成される、学年幹事会において決議されます。私たち役員は、その学年幹事会運営のお手伝いと、決定事項執行のお手伝いをさせていただいていると考えています。

同窓生の増加に対して、学年幹事会には、りてらの未来に暗い影を落としています。

幹事見直しと幹事会活性化」となったが次第です。

幸いなことに大学同窓会総会後の「

三才圖會

ての司窓生の集、一 こねて、幹事参加

『道場の集い』にさし
草写參丹

のまゝ学年こお笛掛ナシたところ、その

のがしふ金いそ戸扱いにかくさん

ううの五学年・五名の方が、名乗つを上

この中の五三五名の力が名乗る方

「アーニー、君の感想は？」

いとくがいじか 愿詞

二二九 お吉卦ナキ（こま）のまづ

これだからこそ声掛けをしてまいりまくすの

皆此の「協力」を頂、申上ざれど

皆さまのご協力をお願ひ申し上げま

十一。

文庫

第一回りてら総会の頃

A large group photograph of students in a classroom setting. The students are arranged in several rows, filling the frame from floor to ceiling. They are all wearing white shirts and dark trousers or skirts. The background shows a plain wall and a doorway.

現在は会員数も増え、会報の封入発送作業は外注しておりますが、当時は学年幹事会の議事終了後に、揃って昼食を撮り、手作業で行っていました。封筒に宛名ラベルを貼付け、会報を三つに折つて封入し、糊付け。まず自分の学年分から着手しますので、幹事会に出席しないと、他の学年に迷惑をおかけすることとなります。その頃は英文・国文共に幹事は四名ずつ居り、連絡を取り合つて出席していました。昼食から作業中、手を動かしながら、先輩後輩とのお喋りもお楽しみのひとつでした。

教育の重要性――

副学長 荒井 真



大学というと学者が研究に没頭している「象牙の塔」というイメージが強いですが、大学の歴史のなかで研究が重視されはじめたのは一九世紀以降です。大学の長い歴史から見ると比較的最近だと言えるかも知れません。それ以前、大学では研究よりも教育の方に重点が置かれていました。

Universityの語源は、ラテン語の「ユニバーシタス」(universitas)ですが、これは「組合」を意味しました。すなわち、大学とは元々、学生や教師のギルドのことであります。ヨーロッパ最古の大学は二世紀後半に誕生したボローニャ大学ですが、ここでは、学生のギルドが教師を雇う形態をとっていました。学生から選ばれた学頭は講義の時間割や教授たちの休暇の日数を決め、講義と討論の方法を決定しました。

当然ながら、受講料を払って授業を受ける学生たちは、教育に対して並々ならぬ関心をもっていました。学生ギルドは、授業をさぼった教師には罰金を科すという規約を定めましたし、そもそも授業をさせる教師の選出を行ったのは学生たちでした。もちろん、神学で有名なパリ大学のように教師のギルドが中心にあった大学もありましたが、学生たちが教育を重視していたことは変わらなかったはずです。

中世大学のみならず、近世の大学でも教える行為は研究よりも優位に置かれていました。とくにドイツは研究よりも優位に置かれていました。

教授は教育熱心だったようです。一八世紀後半に活躍したゲッティンゲン大学教授のJ.W.ミヒエリスは次のように述べています。「少なくともドイツの最良の諸大学は外国の大学より優れている。しかし、これはドイツの教授たちが外国の教授たちよりも学識豊かであるからではない。彼らが優れているのは、若者に必要な学問を講義するという目的をより多く果たしているからである。」あのカントをささえ、ある時にはなんと週三十四時間もの講義を担当したことがありました。

当時、研究活動の中心は大学ではなく、各種のアカデミーでした。ドイツの大学における第一の責務は教育であり、研究・執筆活動は賞賛には値するが、教授の本務とはみなされていなかったのです。

ところが、一八〇〇年に設立されたベルリン大学以降、研究と教育の一体化が主張され、研究活動が優位に立つようになっていったと言われています(最近、有力な異論あり)。しかしながら、当時でき、教育が軽視されていたわけではありません。教師は、自分で研究した成果を講義に生かすべきとされました。そこで真に目標とされたのは、教師と学生が共に研究しに学ぶ知的なコミュニケーションだったのです。

翻つて、現在の日本の大学を見ると、以前に比べて随分と改善されたものの、教育に対する関心がいまだ低いように思われてなりません。教授昇任の際に、審査されるのは研究業績であって、教育実績ではありません。また学生も、教員の授業のあり方にほとんど無関心に見えます。本学をより良くするために、教員・学生が一体となってゼミや講義の質を高める方針を練つていかねばなりません。同窓会の皆様のご理解、ご支援をいたければ幸甚に存じます。

小さな旅くらぶ

同窓会室より

一月一九日(月)、参加一五名で築地を散策してまいりました。一月とは思えぬ木枯しの吹く日。まずは場内を巡りました。昼近い市場は片付けに追われていて、ターレットが走り危ないほど。場外は、平日にも拘らず大変な人出でした。

「木枯しや市場疾走ターレット」

通りの名にもなっている浪除(なみよけ)神社は珍しい枝垂れ銀杏

がご神木。お歯黒の獅子頭も据えてあり

必見です。

昼食は『つきじ田村』で頂きました。

「品書きを読み合

うてをり白障子」

帰る頃には日が射してまいりました。



昨日十一月三日、四日、緑園キャンパスにて大学祭が開催されました。りてらは、オリジナルグッズの販売を行い、場所も良く、予想以上の売り上げとなりました。今年も十一月二日(土)三日(日)に行われますので、大きなブンクの「のぼり」を目印に皆様でいらしてください。

りてらグッズは、ご好評な三種のトートバッグに加え、ゴールド・シルバーのポーチが新発売いすれもマーク入りです。おなじみのペン類・クリアファイルも、

新色を作成中。

先日開設された

ホームページは、

グッズを始め、り

てらの最新情報満載

載ですので、是非

ご覧ください。

なお、住所変更

ます。



りてら2012年度決算報告

(2012.4.1~2013.3.31)

●収入の部(円)

科 目	決 算
終身会員費	16,080,000
預金利息	15,355
収入小計	2,000
前年度繰越金	16,097,355
収入合計	45,352,680
	61,450,035

●支出の部(円)

科 目	決 算
事務消耗品	38,374
印刷費	76,831
会報会員費	2,466,291
総通人交手会費	826,132
パソコン会員費	278,198
ホームページ会員費	894,187
卒業・入学会費	265,910
交文備り大寄会費	7,680
就職課支援金	141,421
合計	1,230,300
	8,695,181
次年度繰越金	109,585
合計	831,847
	52,754,854
就職課支援金	22,000
合計	300,000
	9,905
支出行合計	70,000
合計	1,005,315
	61,450,035

食することは人の輪なり

山田 玲子(82)

幹事さん、同期会を開きましょっ！

同期会活動の一一番の楽しみは、同期会の開催では

料理家になり、19年目を迎えております。

海外へ行く仕事がしたいと思い、フェリスの学生生活の中では料理家になるなんて！考えても無かつた事でした。3年になりゼミを決める時、福岡から赴任されるX先生・・・どんな先生？友だちと一緒に入りたいから・・・あまりに安易に決めたのが元学長の宮坂ゼミでした。私達が宮坂ゼミ一期生となり、福岡から意欲満々にいらした先生、呑気なゼミ生でがつくりされた事でしよう！でも先生に鍛えて頂いた事は大いに今の仕事でも役立つております。

4年生の夏にCSV (Children international summer Village)、11歳児4人とリーダーが1か月間、12か国との仲間と過ごす国際キャンプに参加しました。私はフィンランドのキャンプに参加しました。日本では活発な子どもたちも言葉の大きな壁にぶつかり、うまくコミュニケーションが取れずにホームシックも重なり、日に元気がなくなっていました。そんなある時にJapan dayが来ました。朝から書道、折り紙など日本の文化を紹介し、夜は



書道、折り紙など日本の文化を紹介し、夜は

寿司を浴衣を着た子供達が運んで行きます。疲れでグッタリした私の元に子供達が「玲子さん、うまいって！ おかわりあるかな・・」と笑顔で走って来ます。さつきまで言葉が通じないと泣いていた子供が外国の子供と肩を組んでお寿司を説明している姿。食することは人の輪なんだ…。食は一番身近な外交だと感じ、いつの日か料理の仕事をしたいと思い、一九九五年に料理家として仕事を始めました。

フェリスの友だちに料理家になる事を相談すると、背中を押してくれ、クラス開催の案内状を作ってくれたり、レシピを打ち込んでくれました。22歳の時に夢みた仕事を長く続けられているのは、大学4年間ゼミやクラブと共に楽しい時間を過ごした仲間が、今でも力になってくれて支えてくれているからこそです。

クラスの生徒さんの中で多くのフェリスの卒業生がいらっしゃいます。日本の食材や料理を海外に広めたいと、ニューヨークやシンガポールでの料理クラスも開催しています。海外でも、「先生のプロフィールにフェリス卒とあつたので！」と参加して下さる方がいると、同期生の応援は何よりうれしくパワーの源になります。食を通じて私ができる事を今後も続けていければと願っております。

寿司を浴衣を着た子供達が運んで行きます。疲れでグッタリした私の元に子供達が「玲子さん、うまいって！ おかわりあるかな・・」と笑顔で走って来ます。さつきまで言葉が通じないと泣いていた子供が外国の子供と肩を組んでお寿司を説明している姿。食することは人の輪なんだ…。食は一番身近な外交だと感じ、いつの日か料理の仕事をしたいと思い、一九九五年に料理家として仕事を始めました。

掲載いたします

また、同期会の折に、「横浜市認定歴史的建造物

なうでしようか。りてらは、学年幹事の方々が活動と日本でも何度も練習しましたが、総勢80人の方のちらし寿司・・まだ22歳の私と11歳児4人と悪戦苦闘でした。何とか出来上がったお寿司を浴衣を着た子供達が運んで行きます。

日本食を全員に出します。ちらし寿司で・・・

別館に、カフェテラス・フェリスがあるのを存知でしょうか。学生の憩いの場として二〇〇三年より営業しており、運営は卒業生の手で行われています。近々改修工事に入りますが、リニューアル後は同期会のための特別プランをご用意する予定です。他よ

りゆとりのある時間設定で利用でき、手作りの美味いお料理をご提供いたしますので、是非ご検討ください。(同期会プランの詳細は、決まり次第HPに

新役員紹介

会長	小澤美智子(70)
副会長	羽田明美(79)
	宇佐見瑞枝(85)
	木村貴美(85)
会計	格聰子(84)

書記	増田紀子(83)
会計監査	山縣幸子(84)
	狩野由美(83)
	田辺真弓(72)
会計	從子(60)

半数が、ニューヨークです。新たな気持ちで三年間頑張りますので、よろしくお願ひいたします。
--



会長	小澤美智子(70)
副会長	羽田明美(79)
	宇佐見瑞枝(85)
	木村貴美(85)
会計	格聰子(84)

りてらアーカイブ 8

今回は大学開設の時から十七年間、国文科で教鞭をとられた遠藤祐先生です。

フェリスびとのために

遠藤 祐

れました。ありがとう。ご無沙汰のお詫びに添えて、歌をひとつおくりましょう。

私は昔から唄うことが好きでした。大まではご挨拶から始めましょう。
「りてら」を支えている皆さん、「ごきげんよう」お世話になつた学び舎の建つ山手（やまと）ではなく「やまと」なのだと東京に生まれ育つた私は自分に言い聞かせています）の丘を離れて以降、貴方がたの声が耳許に届いたい今まで月がたちました。その声はほかならぬ（フェリスの声）として懐かしく身近かにひびきます。そしてわたしのうちに茫然としていた（フェリスびと）を呼び醒ましてく



はるけき 古えの日
よいやみ 迫りしどき
ほのかに 耳に入りし
そは優しき 愛のうた
たえなる その調べは
ふかく胸に のこりぬ

ゆうべの歌 ゆめの声
なやみしげき この世にも
しずむ心 なぐさむる
ひびきゆかし 愛のうた
優しきうた

れました。ありがとうございります。歌をひとつおくりましょう。

私は昔から唄うことが好きでした。大まではご挨拶から始めましょう。
「りてら」を支えている皆さん、「ごきげんよう」お世話になつた学び舎の建つ山手（やまと）ではなく「やまと」なのだと東京に生まれ育つた私は自分に言い聞かせています）の丘を離れて以降、貴方がたの声が耳許に届いたい今まで月がたちました。その声はほかならぬ（フェリスの声）として懐かしく身近かにひびきます。そしてわたしのうちに茫然としていた（フェリスびと）を呼び醒ましてく

この曲はモロイ、たしかロンドンに住んだ弁護士の作詞作曲だったと覚えていきます。心に沁みいる歌詞と調べ、好きな歌はほかにもいくつかあるけれど、いまうしてだろう…とわが身に問えば、それはひとえにOldの語に惹かれたためだ、と

気付きます。

Oldには「古い」とともに「昔なじみの、なつかしい」との意味がありましょう。そちかえた私は、おなじ「フェリスびと」の懐かしい皆さんに、帰郷の挨拶をいたします。ですからそれはおのずから「今日は」ではなく、ミッショニ・スクールに独自の「ごきげんよう」となりました。

ところで、私たちにお馴染みのあの「胸

突き坂（私の仮称）」をはじめて登つたのは、いつのことだったか、顧みれば一九六五年の春、大学開設のトキでした。フェリス女学院の院長で、初代の学長であられた山永武雄先生に招かれて、山手の丘に身をおくことになったのです。以来九年間に聖心女子大学に転出するまでの一年を、日本の近・現代文学担当の教員として過ごし、その間に学生たちを迎えて送り出してきました。そこに私たちすべてを結ぶ「きずな」が生まれたのを、大事なことだと感じます。私は聖心のあと昭和女子大の大学院に移つて、研究者の育成を続けましたが、それも定年退職となり、いまはわが家で悠々自適、といえば聞こえはいいが、つまりは何もしな

いでんびり暮らしている—というのが現状です。超絶老骨、化石人間の域を徘徊と先ごろ『玉藻』（フェリス女学院大学国文学会発行）に誌したのですが、いまもの書きを自認する私は、感性のみずみずしさを失つてはなるまい、と自身にいました。

数年前、私はフェリス女学院大学から、文学博士号（第三号）を授与されました。審査の対象となつたのは『太宰治の「物語』（翰林書房社、二〇〇三年）です。その後続けた研究をまとめ、二〇〇五年に『宮澤賢治の「ファンタジー空間」を歩く』（双文社出版）を、翌〇六年に『宮澤賢治の物語たち』（洋々社）を、二〇一〇年に『イーハトヴへの招待』（洋々社）を刊行しました。

なおフェリスの論文博士の第一号は、現在講師をしておられる安藤公美さんでありますことを書き添えます。

りてら同窓会室

開室 毎週火曜日・木曜日 10時～16時
（大学の春・夏・冬期休暇中は閉室）
住所
〒二四五-八六五〇
横浜市泉区緑園四-五一-三

電話 ○四五-八二二二八六九二
○四五-八一四八九六六
FAX ○四五-八一四八九六六
E-mail http://littera.gr.jp
info@littera.gr.jp

あの頃を訪ねて

～ホテルニューグランド～

皆様は謝恩会をどちらで行いましたか？

少し調べてみましたらS30年代からS40年代に卒業をされた方の多くはホテルニューグランドで開催されていました。そこ

で、懐かしい思い出のホテルニューグランドを訪れてみました。山下公園に面するホテルニューグランドは昭和2年12月、幕末に開設されたフランス病院跡を敷地として開業しました。関

東大震災で壊滅的な打撃を受けた横浜の復興をめざし組織された「横浜市復興会」で外国人向けホテルの建設が決まり、官民一体となり建設が進められました。

設計は当時38歳の渡辺仁氏。後に銀座和光や東京国立博物館を設計した建築家でした。平成3年には18階建てのニューグランドタワーを開業し、現在では落ち着いた併まいの本館とモダンなタワーが融合した新しい顔を見せてています。

創業時のキヤッチフレーズ“最新式設備とフレンチスタイルの料理”の元、フランスのホテルから総料理長に迎えたサリー・ワイル氏は後に日本のホテル・レストラン業界に大きな影響を与えた人物で、ホテルオーネーク初代総料理長小野正吉氏やプリンスホテルグルーパーの名前として根付いています。「ドリア」「ナポリタン」「プリン・ア・ラ・モード」「ラムボール」などがこの厨房から生まれたそうです。

開業当時から皇族・イギリス王室などの賓客や、チャーリー・チャップリン、ベーブ・ルースなどの著名人も多く宿泊し、戦後マッカーサーが進駐軍臨時司令部を置いたことをご存知の方も多いのではないでしょうか。現在もマッカーサースイート



として当時使われたライティングデスクとチェアは大切に残されています。
海岸通りから本館エントランスを抜けると広がる大きな階段はまるで舞踏会へ誘われているかのようです。二階ロビーは開業当時のままの佇まいを残し、中でも正面エレベーター上部に張られた綾織の「天女奏楽之図」や天井から吊るされた東洋風の伽藍の灯籠は、西洋風の建築と見事に調和し日本の表玄関として相応しいものでした。現在もロビーの大部 分は当時のままだそうです。

ロビーに面するお部屋の一つ「レインボーボールルーム」は謝恩会の会場として何度も使われました。ホテルのシンボルマークである不死鳥の彫が施された漆喰の天井に七色の光が照らし出されることからその名前が付きました。天井とマホガニーの柱のコントラストが印象的な重厚な雰囲気のお部屋です。また、銀杏並木の先に横浜港を臨む「フェニックスルーム」は、当時お客様のほとんどが外国人であったことを意識して作られた神殿を内包したかのような日

本風の様式の会場です。皆さまにとって思い出深いお部屋は階段の先にあります。当時を思い出し、ぜひ一度お出掛けになつてみてはいかがでしょうか。

銀杏の葉が色づく11月は山手・家政科記念館にてバザーを予定しています。ぜひこちらにも足を延ばして頂き、思い出話をお聞かせください。



大学生のためのクリスマスリース・お料理教室

“ひとりべらしょ応援プログラム”として、学生課

に協力する取り組みも五年目を迎えました。

クリスマスリース作りは、十一月二十二日フランキー＆テーブルデコレーターの近藤由香里さん（D51）に教えていただきました。基本の作り方の説明を受けてから、白いバラのプリザーブドフラワーをポイントに花材を次々リース台に付けて二時間程で完成させました。

不安な表情で作り始めた学生達も、先生のアドバイスを受け次第に自分の個性を發揮し、素敵になりました。

料理教室は、十一月二十九日クリスマスに仕上がり、リースに仕上がり、とても喜んで下さいました。

料理教室は、大森育子さん（D52）にお願いしました。グアートを主宰する

大森育子さん（D52）にお願いしました。塩麹の作り方と、塩麹を使ったコールドチキン、ステーキ、簡単アップルパイの献立で、お料理の楽しさや応用の仕方等丁寧に教えていただきました。

山手は初めての学生も多く、家政科についてお話をいたしました。

お料理教室

りべるて主宰「お料理教室」に参加させていただきました。初めてでしたので緊張していましたが、和やかな雰囲気の皆さんや大きな調理台を見ると実習の時間と思い出し、懐かしさが込み上げてきました。

今回は大森先生に、下処理に塩麹を使つたコールドチキン・ポークと新玉ねぎのボトフを教えていただきました。鶏肉の整形は、豚糸ではなくラップを使って市販のハムの様にするプロの技!! 随所に調理のポイントを教えて下さるので、夢中でメモを取りました。

下味で用いた塩麹によつて、両品共深いコクとまろやかな塩味で、美味しくいただきました。家庭ではご馳走になりました。

下味で用いた塩麹によつて、両品共深いコクとまろやかな塩味で、美味しくいただきました。家庭ではご馳走になりました。

下味で用いた塩麹によつて、両品共深いコクとまろやかな塩味で、美味しくいただきました。家庭ではご馳走になりました。

(荒井直子・D55)



大村先生のステンドグラス教室

一月二三日(水)一七名の出席でおひな様か、干支の日を選んで作りました。
次回は、二〇一四年一月二九日、干支の馬の予定です。



大森先生のお菓子教室

一月二四日(木)一五名の出席でバナナチョコレートタルトを教えていただきました。



矢吹先生の北欧絵織物教室

六月二六日(水)一三名の出席でベリーがたくさんでとても美味しくいただきました。



小倉先生のビーズ教室

七月四日(木)八名の出席で、ジェットやガーネットを使いティアドロップが印象的なネックレスを作りました。



次回は、二〇一四年七月三日です。

役員募集

りべるてのお手伝いをしていただける方を募集しております。
木曜日が活動日で、交通費(実費)を支給いたします。
※昼食は各自ご用意いただきます。

お願い

転居・住居表示変更のために、郵便物が届かない方が増えています。
変更がありましたら、りべるて宛お知らせください。

TEL・FAX

045-662-0750

■2012年度決算報告書

(2012.4.1~2013.3.31)

科目		金額(円)
受入	受取利息 事業費(グッズ販売、バザー) 寄付金 その他の 小計	19,127 519,090 0 0 538,217
支出	前年度繰越金 合計	11,838,168 12,376,385
繰越金	奖学金基金 寄付金(バザー売上) 国際費 事業費(グッズ) その他 小計	500,000 99,129 0 345,555 500 945,184
細	次年度繰越金 合計	11,431,201 12,376,385
定期貯金(株式会社ゆうちょ銀行) 定期貯金(同上) 通常貯金(同上) 通常貯金(同上)(グッズ) 普通預金(横浜銀行) 定期預金(横浜銀行)	2,658,826 3,012,000 972,197 908,382 872,830 3,006,966	
合計	11,431,201	

■2012年度運営費報告書

(2012.4.1~2013.3.31)

科目		金額(円)
収入	基金運営費(学院より)	2,450,413
支出	合計	2,450,413
	消耗品費 旅費 交通費 通信・運搬費 印刷製本費 報酬手数料 会議・会合費 諸会費 涉外費 雜費 修繕費 事業費 寄付金	9,100 369,780 871,742 797,908 1,865 84,326 70,000 130,493 115,199 0 0 0
	合計	2,450,413
	収入-支出	0

■2013年度予算案

2013年6月8日

科目		金額(円)
消耗品費	(事務用)	120,000
	(その他)	10,000 110,000
旅費・交通費		370,000
通信・運搬費	(郵便料金) (宅急便)	950,000 940,000 10,000
印刷・製本費		800,000
報酬・手数料		2,000
会議・会合費		100,000
諸会費		70,000
涉外費		110,000
雜費		70,000
修繕費		0
事業費		0
寄付金		0
合計		2,592,000

会長

金子和恵

石井克子

池田昭子

会計

金子和恵

池田昭子

監査の結果、相違ないことを確認いたしました。 2013年4月25日

監査

郷佐美

清見治美

同窓会支部だより

東京支部

東京支部の活動をご紹介させていただき

ます。
昨年の東京支部総会は、10月4日(木)秋
晴れの中、例年通り浜松町東京会館で開催
されました。音楽学部教授でいらっしゃる
秋岡陽先生が新学長としてご挨拶下さい
創立150周年に向けての学院のグランド
デザインに意欲満々のご様子でした。

午後の講演は詩人、伊藤比呂美さんをお
迎えし、その独特的な言葉遊び、楽しいけれ
ど奥深いお話、魂が震えるような詩の朗読
に、皆、圧倒されました。数々の文学賞受
賞も納得のひとときでした。

11月は田端文士村記念館とその周辺を文
学散歩。宮坂先生の説明を受けながら文士
達ゆかりの地を散策しました。今年に入り、
1月には初春歌舞伎、4月には懐かしい「ア
ルカディア市ヶ谷」(以前の私学会館)にてお
花見ランチ。残念ながら桜は散った後でし
たが和やかな会話がはずみました。

今年の総会(10月3日)には大学から、近
藤存志先生(文学部教授)をお招きして教会
建築のお話を伺う予定です。また来年の初
春歌舞伎は生まれ変わった新しい歌舞伎座
でのこけら落し公演を楽しみたいと思つて
おります。

皆様お誘いあわせの上、ぜひ東京支部へ
ご参加下さいませ。 支部長 多賀 礼子

関西支部

二〇一二年一一月一四日、JR大阪駅に
隣接の、ちょっとお洒落なザ・リツツカーネ
ルトン大阪を会場に、例年通り、関西支部
同窓会(以下同窓会と略す)総会を開催しま
した。遠くは浜松、和歌山、金沢から、近
くは京都、阪神地域から三六名のご出席で
した。常連の方々に加えて、毎回ではなく
ても、懐かしいお顔を見せて下さる方、ま
た初めての方と、同窓の皆様との一年に一
度の再会は、何よりの喜びです。賛美と、
聖書の御言葉に聴き、祈りによって始める
同窓会は、フェリス女学院同窓会の大切な
時として継承しています。

白菊会同窓会の結成が一九〇七年五月二
一日、同窓生と在校生の親睦をはかり、教
養を高めることを目的として、当時のブー
ス校長の提唱により組織されたと、記録に
あります。関西支部の発足は一九二六年一
月七日で、今年は八七年目となります。

現在オールフェリスとして名簿上、六五〇
人余りの大世帯になっています。先達が担つ
てこられた関西支部を今後も継続すること
に意味があることと思います。

一九九四年以来支部長を担つて参りました
たが、本年十一月六日の同窓会をもって、
支部長を交替いたします。これまでお支え
いただきました各学部同窓会及び白菊会へ
感謝を申し上げ、引き続き関西支部を覚え
てお祈りくださいますようお願い申し上げ
ます。

関西支部支部長 清水 操

西南支部

同窓生の皆様、お元気にお過ごしのこと
と存ります。

昨年度の同窓会・総会は三月三十日にホ
テルオークラ福岡にて開催いたしました。
当番幹事は音楽科、九州・山口支部の役員
六名の方がお世話してくださいました。大
学より秋岡陽学長、立神粧子音楽学部長、
名倉淑子演奏学科教授をお迎えいたしまし
た。

秋岡学長より大学の「今」のお話しを伺い、
改めて時の流れを感じました。

立神先生のピアノ、名倉先生のヴァイオ
リンの演奏には、全員、それはうつとり聞
き入ってしまいました。また、幹事さんの
初企画により同窓会終了後には学科別の分
科会もあり有意義な時間でした。

西南支部には、学部学年を超えた和気藹々
と活動しているサークルがあります。ハ
ンドベルのベル・リリーズの優しい音色、
ヴォーカルアンサンブル九州のコーラスを
同窓会では聞いていただきました。

これまで同窓会は秋に開催してまいりま
したが、次回二五年度は色々調整の結果
来年六月を予定しております。毎回福岡で
の開催ですが、同級生との再会を楽しみに
各県から出席してくださりうれしい限りで
います。

今後ともどうぞよろしくお願ひいたしま
す。

白菊会より

いつも変わらぬお交わり、ありがとうございます。
います。

フェリス白菊会は6月から服部会長の後
を受け、新体制で次の3年間を受け継ぐ事
となりました。役員会メンバーはあまり変わ
らず、今までの服部体制を受け継いでゆく
ことになりますので、よろしくお願いします。

さて、今年も秋のカイベーサタデーコン
サートが決定しました。

今回は3年前に設置されたデイジーオル
ガンドの演奏会となります。毎朝の礼拝で
使われ、私たちにはなかなかその響きを聞く
ことができません。この機会に是非そのすば
らしい響きを味わっていただきたいと思つて
います。お出かけをお待ちしています。

白菊会会長 蒲原 恵子

White Daisy Fair カイベーサタデーコンサート

XVII
二〇一三年一月一六日(土)
開場二二:三〇 開演二二:〇〇
全席自由3,000円(学生券1,000円)

出演
高橋 靖子(オルガン)
増沢 真実(ピアノ) 高橋よしの(チェロ)
高橋まきの(マリンバ)

同時開催美術展
多田 季子 パッチワークキルト作品展

●会場
フェリス女学院カイベー記念講堂
JR石川町南口 MM線元町中華街下車
フェリス白菊会
フェリス女学院中学校高等学校
同窓会室(火・木 在室)
TEL&FAX 〇四五・六四・五〇〇〇
収益はフェリス女学院中学校高等学校に寄付いたします。

クリスマス礼拝のご案内

●同窓会は外国にもあります

●ニューヨーク事務所

Mrs. Rakuko Kuwayama
136 West 24 St. New York, N.Y. 10011 U.S.A.
TEL 212-675-3840

●ハワイ事務所

Mrs. Chizu Hatakeyama
3043 Hollinger St. Honolulu, HI.
96815-4211 U.S.A.
TEL 808-735-1296 FAX 808-735-1579

●カリフォルニア事務所

Mrs. Junko Yokota
3117 Mabury Rd. San Jose, CA. 95127 U.S.A.
TEL 408-923-4632 FAX 408-729-5669

2012年度 フェリス女学院 同窓会連絡会 会計報告

(2012年4月1日～2013年3月31日) (単位円)

前年度総越金(2012年4月1日)		852,871
収入	同窓会連絡会 維持費 白菊会、りてら、りべるて、Fグループ 各@¥70,000×4	280,000
	利息 2012年8月18日	76
	利息 2013年2月16日	90
	小計	280,166
	収入合計	1,133,037
支出	支部総会お祝い金 東京、西南、関西支部 各@¥20,000×3	60,000
	送料 @¥520×3	1,560
	クリスマス礼拝経費(振込み手数料込)	63,796
	支出合計	125,356
	次年度総越金	1,007,681

以上のとおりご報告いたします。

2013年4月1日 りてら会計 大胡 晓子

《日 時》

2013年12月14日(土)

午前11時～12時

《場 所》

カイパー記念講堂

《説教者》

日本基督教団

横須賀小川町教会牧師
寺田信一先生



クリスマス礼拝(2012年)献金先

献金 総額

合計159,600円

- 特定非営利活動法人 難民を助ける会
- 社会福祉法人 日本医療伝道会
- 公益社団法人 日本キリスト教海外医療協会
- 公益財団法人 日本ユニセフ協会

¥39,900
¥39,900
¥39,900
¥39,900

大学事務部より

日頃同窓会の皆様には、大学をお支えいた
だき感謝を申しあげます。

さて、秋岡学長の任期二年目となる今年か
ら、大学は、将来に向けた大学の発展を期し
て四つの基本方針を定め、その実現を目指し
て「2013-2016年度中期計画」を策定

し、具体的な大学改革の実施に踏み込みまし
た。
四つの基本方針とは、①「建学の精神」「教育
理念」の明確化②安心・安全なキャンパス③受
験生・学生に支持される大学④大学の発展を
図り、学生に支持される大学④大学の発展を
により私たちに託された限りある予算を効果
的に配分し、継続的に大学の質の保証と改善
を図り、大学をより魅力あるものにしてゆく
取り組みです。

今後、さまざま取り組みの中で、同窓会
や同窓生の皆様にはご支援とご協力を願い
させていただく場面があるかと思いますので、
よろしくお願い申しあげます。
さて、一昨年、昨年との場をお借りして
ご支援をお願いしました、本学の東日本大震
災被災学生への奨学金基金へのご寄付につい
ては、社会情勢の厳しい折にもかかわらず、
たくさんのご協力をいただき、有難うござい
ました。お陰様で二〇一二年度は総額三、二
五七、六四二円を基金に充当することが出来、
受給者一〇名全員の奨学金全額を賄うことが
できました。このうち四名は無事卒業しまし
た。皆様の篤き思いと、「For Others」の変わら
ぬ思いを実感し、ご芳志に心より感謝申しあ
げます。

しかしながら、二〇一三年度については、
必要とする基金の額に対して、未だ約一三〇
万円の不足が予想されています。学内におい
ても、あらためて教職員から寄付を募り、少
しづつではありますが基金の充実を図ってい
るところです。
つきましては、この場をお借りして引き続
きのご協力を、あらためてお願い申しあげま
す。また、昨年度から、この基金へのご寄付
は所得税の寄付控除の対象となりましたので、
ご寄付いただける場合は、ご面倒でも大学に
ご連絡いただき、所定の申込書によりお手続
きをお願い申しあげます。

ご寄付についての問い合わせは、大学総務
課(電話:045-812-8211(代表)04
5-812-8642(直通)FAX:045-8
12-8822)にて承ります。
大学で働く私たちにとっては、さまざま
場面での卒業生のご活躍の報に接することで、
励みとなり、また喜びとなります。今後とも
引き続き大学を覚えていただき、ご支援を賜
りますよう、心よりお願い申しあげます。
今年度も、三同窓会のご発展と会員皆様の
ご健勝とご多幸を心よりお祈り申しあげます。

■2013年度音楽学部コンサートのご案内■

- ◆9月30日(月)フェリス・音楽の花束 フェリス・ストリングアンサンブル
共催/神奈川県民ホール
出演/ヴァイオリン:名倉淑子 千葉純子 渡部基一 那須亞紀子
ヴィオラ:中村静香 二木美里 チェロ:井上雅代 藤村俊介
曲目/F.メンデルスゾーン 弦楽八重奏曲 変ホ長調 Op.20 他
神奈川県民ホール 小ホール 19:00開演 一般¥3,000
 - ◆10月17日(木)室内楽の愉しみ
出演/学内オーディション合格者
フェリスホール 19:00開演 入場無料
 - ◆11月14日(木)オーケストラ協演のタペ(音楽学部・大学院音楽研究科合同)
出演/ソリスト:学内オーディション合格者 指揮:鷹羽弘晃
フェリスホール 19:00開演 入場無料
 - ◆12月6日(金)フェリス管弦アンサンブル第12回定期演奏会
出演/ソリスト:学内オーディション合格者 指揮:飯吉高
フェリスホール 19:00開演 入場無料
 - ◆12月23日(月・祝)第23回フェリス女学院「メサイア」演奏会
曲目/G.F.ヘンデル オラトリオ『メサイア』
フェリスホール 16:00開演 一般¥2,000
 - ◆2014年3月14日(金)卒業記念演奏会
出演/卒業試験成績優秀者
フェリスホール 開演時間未定 入場無料

お問い合わせ：音楽学部演奏委員会室 045-895-1566

■Eグループ演奏会のお知らせ■

- ◆9月13日(金)ジョイント・コンサート
ピアノ、声楽、ヴァイオリンによるコンサート
フェリスホール 18:30開演 ¥,1000
 - ◆10月18日(金)ティータイムコンサート
ソブラン、リコーダー、オルガンによる演奏とお話
フェリスホール 14:00開演 ¥,1,000(茶菓子付)
 - ◆11月23日(土・祝)研修会とフェリスホールのための募金コンサート
1部：研修会～バッハの時代に焦点を当てて～
講師：オルガン演奏：宮本とも子
2部：募金コンサート
フェリスホール 15:00開演 ¥,2,000

お問い合わせ：Fグループ事務局 Tel & Fax : 045-681-6740

永眠者（お届けのあつた方

大学祭
FERRIS FESTIVAL 2013

大学祭
FERRIS FESTIVAL 2013

●Oh→Girls Be Ambitious!

開催場所 .. 緑園キャンパス
(両日10..00~20..00)

資料室からのお願い

- フエリス女学院百五十年資料集◆第2集
- ◆「近代女子教育 新学制までの軌跡」が発行されました。ご希望の方は資料室まで。
- 短期大学・大学の歴史や学生生活に関わる資料を収集しています。どんなものでも結構です。是非ご寄贈ください。

- フェリス女学院資料室

編集後記

本大震災以来、日本のあちらこちらで災害が起っています。本当に大変な事だと思います。お元気を出してと願わざにはいられません。

今年も無事会報をお届けする事が出来ました。お一人でも多くの方にご覧頂けたら幸いです。



フエリス女学院大学同窓会会報

担当…家政科同窓会りべるて

りてら
グループ
○○四五
四五(八一
六八二三
二六七八
四〇九二